

# 園内の花壇に適した品目の調査

## サルビア、ジニア

濱谷修一・信太千帆

園内の花壇に適した品目を調査する目的で、サルビア、ジニアの種子を導入し、同じ条件下で比較栽培を行った。

### サルビア

種子交換および種苗会社からの購入により入手した35種35品種の種子を2010（平成22）年4月20日には種し、無加温のガラス室内で管理した。そのうち、表1に示した29種35品種が発芽し、園内の花壇に定植して慣行の方法で栽培したところ、同年秋までに7種35品種が開花した。

多くの野生種は秋までに開花せず、花壇で有効に使うためには育苗期間を長くするなどの工夫をする必要が示された。また、今回栽培した中で秋までに開花した種については、園芸的に目を引くものが見当たらなかった。

種苗会社から購入した栽培品種についてはすべてが開花した。スプレンドゥス系が主体になったが、近年は花色が豊富になり、植栽方法も多様になっている。ボンファイヤー、スカーレットジルバ、ドレスパレード等の赤系が花の傷みが目立たず使いやすいが、ファロア、シズラー

ライラックバイカラーなどの紫系の品種にも傷みの目立ちにくいものがあった。一方で、白やクリーム色系のほとんどの品種は花の傷みが目立ったため、雨ざらしの条件下では特性が出

表1. 比較栽培を行ったサルビア (*Salvia*) 一覧

---

<i>S. somalensis</i> (ラーメー植:フランス)、 <i>S. africana-caerulea</i> (ラーメー植)、 <i>S. africana-lutea</i> (ヘブライ大植:イスラエル)、 <i>S. amplexicaulis</i> (Comune di Trieste:イタリア)、 <i>S. austriaca</i> (Comune di Trieste)、 <i>S. barrelieri</i> (Comune di Trieste)、 <i>S. bifolia</i> (ディオン植:フランス)、 <i>S. broussonetii</i> (リスボン技術大農学研究所:ポルトガル)、 <i>S. buchananii</i> (ラーメー植)、 <i>S. canariensis</i> (ヘブライ大植、Comune di Trieste)、 <i>S. candelabrum</i> (ラーメー植)、 <i>S. chinensis</i> (ロツテルダム王立動植:オランダ)、 <i>S. coccinea</i> 'ミックス' (サカタ)、 <i>S. dolomitica</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. dumetorum</i> (ロツテルダム王立動植)、 <i>S. eigii</i> (ヘブライ大植)
S. ファリナセア系 'ピクトリアブルー' (タキイ)、'ピクトリアミックス' (サカタ)、'ストラータ' (サカタ)、'エポリューション' (サカタ)、'ナナ ディープブルー' (サカタ)、'シラス' (タキイ)、 <i>S. fruticosa</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. glutinosa</i> (ロツテルダム王立動植)、 <i>S. hians</i> (ロツテルダム王立動植)、 <i>S. hierosolymitana</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. horminum</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. indica</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. judaica</i> (ヘブライ大植、Comune di Trieste)、 <i>S. leucophylla</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. munzii</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. patens</i> (ロツテルダム王立動植)、S. パテンス系 'パティオ ディープブルー' (サカタ)、'パティオ ホワイト' (サカタ)、'パティオ ライトブルー' (サカタ)、 <i>S. repens</i> (ヘブライ大植)、 <i>S. somalensis</i> (ロツテルダム王立動植)、 <i>S. x superba</i> 'ブルークイーン' (サカタ)、S. スプレンドゥス系 'サルサ スカーレットバイカラー' (サカタ)、'サルサ バイカラーミックス' (タキイ)、'サルサ ローズ' (タキイ)、'シズラー サーモン' (サカタ)、'シズラー バーガンディハロー' (サカタ)、'シズラー ホワイト' (サカタ)、'シズラー ミックス' (サカタ)、'シズラー ライラックバイカラー' (タキイ)、'シズラー ラベンダー' (サカタ)、'シズラー レッド' (サカタ)、'スカーレットキング' (タキイ)、'スカーレットジルバ' (サカタ)、'トーチライド' (タキイ)、'ドレスパレード 紅姿' (サカタ)、'ドレスパレード ミックス' (サカタ)、'ファロア ミックス' (タキイ)、'フラメンコ サーモン' (タキイ)、'フラメンコ パープル' (タキイ)、'フラメンコ ホワイト' (タキイ)、'フラメンコ レッド' (タキイ)、'フラメンコ ローズ' (タキイ)、'ホットジャズ' (タキイ)、'ホワイトサブライズ' (サカタ)、'ボンファイヤー' (サカタ)、'リトルタンゴ' (サカタ)、'レッドアラード' (サカタ)

---

サカタ:株式会社サカタのタネ。タキイ:タキイ種苗株式会社。○○植は種子交換による導入先の○○植物園の略。

は種日:2010年4月20日。下線を引いているものは、同年10月中旬までに開花しなかったもの。

しにくいと感じられた。また、パテンス系は真夏にかなり株が傷み、広島の炎天下での栽培には不向きであると感じた。

## ジニア

種苗会社からの購入により入手した59品種(表2)の種子を2011(平成23)年4月18日から5月23日の間には種し、無加温のガラス室内で管理し、全てが発芽した。なお、種子交換でいくつかの野生種も導入したが、いずれも不発芽あるいは同定ミスだったため、表には示さなかった。発芽した全品種を園内の花壇に定植して慣行の方法で栽培したところ、いずれの品種も順調に生育し、同年初夏から秋までの間にすべてが開花した。

開花初期においては、花がら取りを適宜行うことにより、いずれの品種も次々と新しい花を咲かせ、花壇を美しく彩った。しかし、日数の経過とともに高性品種のほとんどで下葉の傷み

が目立ち始めた。また、最も暑い時期を経過した後ではアングスティフォリア系の全品種では立ち枯れが目立ち、エレガンス系、ハーゲアナ系、マリランディカ系の品種においても下葉の傷みが目立つ品種がいくつか見られるようになった。ペルヴィアナは株が地を這う性質であったのに分枝が少なく、花壇に向くとは言い難かった。このような中で、プロフェュジョンの各品種、プルチノ、F1ドリームランドの各品種、エンビー、キャンディー、サンボウ、ペパーミントスティック(以上、エレガンス系)、天人菊咲キソンプレロ(ハーゲアナ系)などは傷みが目立たず、花壇(直射日光、雨ざらしの条件下)によく耐える品種であると判断された。

なお、本報において花壇に向いた品種として挙げられなかった品種は、栽培環境を変えることによってそれぞれの特性が発揮され、美しい植栽材料となると思われる。

表2. 比較栽培を行ったジニア(Zinnia)一覧

---

### アングスティフォリア系

‘プチランド・オレンジ’、‘プチランド・ホワイト’、‘プチランド・イエロー’(以上、タキイ)、

‘スターブライト・ミックス’(サカタ)

### エレガンス系

‘クイーン・ライム’、‘クイーン・レッドライム’、‘スイズル・チェリー&アイボリー’、‘スイズル・スカーレット&イエロー’、

‘プロフェュジョン・アプリコット’、‘プロフェュジョン・イエロー’、‘プロフェュジョン・オレンジ’、‘プロフェュジョン・コーラルピンク’、

‘プロフェュジョン・ダブルゴールド’、‘プロフェュジョン・ダブルチェリー’、‘プロフェュジョン・ダブルファイアー’、

‘プロフェュジョン・ダブルホワイト’、‘プロフェュジョン・チェリー’、‘プロフェュジョン・ディープアプリコット’、‘プロフェュジョン・

ファイアー’、‘プロフェュジョン・ホワイト’、‘マゼラン・アイボリー’、‘マゼラン・イエロー’、‘マゼラン・スカーレット’、

‘マゼラン・チェリー’、‘ワーリーギッグ’、‘プルチノ・ミックス’(以上、サカタ)、

‘F1 ドリームランド・コーラル’、‘F1 ドリームランド・アイボリー’、‘F1 ドリームランド・ピンク’、‘F1 ドリームランド・ローズ’、

‘F1 ドリームランド・スカーレット’、‘F1 ドリームランド・イエロー’、‘F1 ゴールド・サン’、‘F1 レッド・サン’、‘F1 サマー

ドレス混合’、‘F1 スイズル混合’、‘ダリア咲き混合’、‘エンビー’、‘ペパーミント・スティック’、‘サンボウ混合’、

‘ジニータ混合’、‘キャンディー・ミックス’、‘ペパーミント・スティック’(以上タキイ)、

### ハーゲアナ系

‘アズテック・サンセット’、‘オールド・ファッション’、‘天人菊咲き ソンプレロ’(以上、サカタ)‘ジャジー混合’、

‘オールド・メキシコ’(以上、タキイ)、

‘天人菊咲き ソンプレロ’(大和)

### マリランディカ系

‘ザハラ・コーラルローズ’、‘ザハラ・ダブルチェリー’、‘ザハラ・ダブルファイアー’、‘ザハラ・ファイアー’、‘ザハラ・スカーレット’、

‘ザハラ・スターライト・ローズ’、‘ザハラ・ホワイト’、‘ザハラ・イエロー’(以上、タキイ)

### その他

ペルヴィアナ(大和)

---